

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光政策課 (内線：7237)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰文化観光圏整備事業	(18,086) 13,472	(3,000) 3,000	(15,086) 10,472			(4,614)	(13,472) 13,472	

トータルコスト 16,699千円 (前年度7,143千円) [正職員：0.4人]
 主な業務内容 協議会総会等の開催、共通事業の実施、構成団体との連絡調整
 工程表の政策目標(指標) 他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致を促進する。

※上段()内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県中部から島根県大田市(隠岐を含む)に至る観光地が連携して、2泊3日以上滞る型観光を推進するために、両県の観光関係団体、交通事業者、行政機関等で組織する山陰文化観光圏協議会に対して、事業費の一部を負担する。

併せて、魅力的な事業の実施、効果的な情報発信を実施するためには、各観光地間や異業種間の連携が必要になる。これらの関係者の連携を調整するため事務局の機能強化を図る。

《観光圏の範囲》

鳥取県：中部5市町、西部9市町村
 島根県：東部8市町、大田市、隠岐3町1村

2 主な事業内容

(1) 事業費

13,472千円 (負担金7,500千円、委託料5,972千円)

(2) 主な事業

ア 鳥取県と島根県及び市町村等と共同で実施する圏域全体に関する事業

鳥取県負担額 3,500千円 (負担先：島根県観光連盟)

事業内容	事業費	財 源		
		国	両県	その他
周遊マップ作成	2,000	800	1,200	0
ポータルサイト運営	700	0	700	0
二次交通(バス)マップ改訂	2,000	800	600	600
周遊バス実証運行	4,100	1,640	1,260	1,200
圏域内事業者研修会	800	320	480	0
モニタリング調査	3,800	1,520	2,280	0
PR用ツール作成	1,600	640	480	480
合計	15,000	5,720	7,000	2,280

イ 市町村観光協会や各温泉旅館組合等、個別の協議会構成員が実施する事業への助成

鳥取県負担額 4,000千円 (負担先：島根県観光連盟)

事業内容	事業費	財 源
・着地型旅行商品作り ・さかな食べ歩きマップ作成 ・観光素材集作成 など	20,000 (予定)	両県 4/10 事業主体 6/10

※助成対象：国庫補助対象期間(平成22年9月まで)を越えるため、補助対象とならない事業で市町村域を越えるもの。

ウ 鳥取県事務局費 鳥取県観光連盟への委託料 5,972千円

事業内容	事業費	財 源
・コーディネーター人件費 ・アドバイザー(非常勤)の配置 ・上記の活動旅費	5,972	鳥取県 10/10

※別途、ふるさと雇用再生特別交付金を活用し、山陰文化観光圏事務局の体制強化を図るため、観光地間や異業種間連携を調整するコーディネーターの事務補助員を鳥取県観光連盟に1名配置する。

3 これまでの取組状況、改善点

平成20年 8月 観光圏協議会設立
 10月 国土交通大臣の観光圏第1号認定・滞在型観光を促進するための事業を開始
 平成21年 4月 鳥取県事務局設置(コーディネーター配置)
 周遊マップ、2次交通(バス)マップの作成やモニタリング調査等を実施しているところ。